戦　　評

大会名　平成23年度全日本9人制バレーボールクラブカップ選手権大会
(31thデサントジャパンクラブカップ)岩手県予選会

男　子　決　勝

奥州クラブ	0	19 — 21 21 — 23 —	2	北　上

試合時間　0　時間　51　分

主　審　小野寺　太

副　審　安部　努

戦　評

2年ぶりの決勝進出となった北上と今年度新チーム結成し、初優勝を目指す奥州クラブの対戦となった決勝戦は、第1セット北上、宍戸、後藤の両サイドオープン攻撃から得点を重ねる。一方奥州クラブは好レシーブから鈴木のセンター攻撃と小野寺の時間差攻撃で反撃、1点を争う好ゲームとなったが、終盤好サーブから抜き出た北上が先取した。第2セットも前のセット同様、序盤から両チームとも粘り強くボールを拾い、攻撃につなげ白熱した攻防を繰り広げ、先行する北上を奥州クラブが追いかけ、終盤に追いつくも試合巧者の北上はサーブで連続得点を挙げ、粘る奥州クラブを退け2年ぶり13 回目の優勝を飾った。

※　７～１０行にまとめること。

戦評者　渡辺　透